



ま とく れい こう 励徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



夕焼けを美しいと思える心を持ちたい

第 21 号

R5.9.29発行

文責 永田 功臣

今年度前半を振り返ってみましょう

9月が終わろうとしています。早いもので今年度も半分が過ぎました。来週末には、今年度初めての通知表の配付を予定しています。いい機会なので、今年度前半の自分を振り返り、後半に活かしていきましょう。

今年も感染症対策を施しながらの行事の実施となりました。「始業式」、「入学式」に始まり、少しずつ地域の方にも来ていただきながら「茶摘み」や「運動会」



「田植え」と大きな行事がありました。その中で初めて経験することも多く、**チャレンジすることで自信を得た人も見うけられます。**

上級生とかリーダーとかいう意識の高まりも見られました。特に企画委員会をはじめとした児童会活動は、**より主体的な活動**になっており、自分たちで学校生活を高めていこうという姿勢が見られます。今年度、子どもたちに投げかけた「礼トーク」という取組も**自分たちなりに工夫して実践していこうという意気込み**を感じています。



挨拶に関しては、地域や保護者の皆様から少し辛めの評価をいただいています。さらに、高い意識をもって**相手に気持ちが伝わるように工夫**していきましょう。企画委員もいろいろな工夫をしてくれています。声のトーン、表情、目線など意識すると、さらに気持ちが伝わると思います。



いずれにしても、今頑張っていることは、間違いなく外部に対して誇れることです。後半も、自信をもって堂々と実践し、自分自身を、そして励徳小学校をアピールしていきましょう。



☆はうかう☆ ～キラリと光るために～

2学期の目標として令和5年度版の「励徳プライド」を示しました。その中に「発表」という項目を入れています。これは、励徳小学校の子どもたちを見ていて、感想交流等をする際に堂々と発表できていると感じたからです。外部に対しても自信をもって、いつものように「発表」してくれば良いと思います。それが「励徳プライド」、励徳らしさです。

「大きな声で発表」
三年 平野 まお
「キラリと光る」ために
だれにもまけない声で
発表するのをがんばる

もっとサイエンス



「暑さ寒さも彼岸まで」とうことわざのとおり、秋分の日をはさんだ一週間の彼岸に合わせて、朝晩がいくぶん涼しくなってきました。また、ヒガンバナも満開です。5・6年生と植えたヒガンバナは、来年には花を咲かせることでしょう。

さて、植物はどうして決まった季節に花を咲かせることができるのでしょうか。考えたことはありませんか。地球温暖化が進んできており、以前より暑さが増してきている感じがするので、気温だけではなさそうです。

そういえば、**夜に人工的に光を当てて開花を遅らせる「電照菊」**のことを思い出しました。**光が当たる時間が開花に関係しているようです。**秋分の日を境に段々昼間の長さが短くなります。夕方も少し早く暗くなるようになってきました。みなさんも光と植物の開化の関係についてちょっと調べてみましょう。

今後の行事予定

- 3日(火) 全校集会
- 6日(金) 通知表配付
- 10日(月) 5・6年生下校時刻変更(～19日)
- 16日(月) 稲刈り
- 20日(金) 5・6年生小体連陸上記録会
- 24日(火) 1・2年生見学旅行
- 26日(木) 芸術鑑賞
- 31日(火) 3・4年生見学旅行

